

令和4年度  
赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 第3回幹事会  
＜記録概要＞

開催日時 令和4年10月19日（水） 14：00～15：50

会 場 赤羽会館 大ホール

出席者 協議会幹事：11名

オブザーバー：5名

事務局：北区まちづくり推進課 坂本、猪越、荒川、梶川、福島、柏崎

コーディネーター：都市企画工房 金内、山中

配付資料 資料1 令和4年度第3回幹事会スライド投影資料

資料2 住民向けワークショップ募集チラシ（案）

=====

## 1. 開会

（会長挨拶）

皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大により、延期していた今年度の第3回の幹事会がようやく開催できました。本日は第2回に引き続き、赤羽駅東口の将来のまちづくりについて、今後のまちづくり懇談会の開催などを見据え、まずは幹事会としての活動成果を深掘りするグループワークを行いたいと思います。当初の予定では今回までで一応のまとめに到達したい考えではありましたが、引き続き有意義で活発な議論ができるよう、ご協力のほど宜しくお願いします。

## 4. 報告事項（繰り上げ報告）

「東京都北区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」の施行について

（北区生活安全担当課坂内課長より説明）

- ・本条例が10月1日から全部施行となり、黄色いジャケットの隊員がパトロール活動を開始している。事業者からもご挨拶したい。

（委託事業者より挨拶）

- ・悪質な客引きの注意・指導を行っている。隊員4名が、被害者を一人でもなくすように活動しているため、ご協力をお願いしたい。

## 2. グループワーク

（コーディネーターよりグループワークの説明）

- ・これまでの仕上げに近づける形になるが、前回から時間も空いたため、振り返りを行った。
- ・今年度5月から全3回でグループワークを実施し、第1回目は、まちの将来像を考える上での手掛かりとして、赤羽ってどんなまちなのか、赤羽をどんなまちにしたいかという視点で、検討のテーマを掘り起した。

- ・第2回目は、そのテーマごとに目指すまちのイメージを、それぞれにキャラクターを設定して、その人物になり切って、イメージを膨らませた。
- ・今回は、膨らませたイメージを地図に落とし込む。
- ・前回、こんなものがあると良いと考えたものが、赤羽のどこにあったら良いか考え、将来の目指すまちの姿が伺えるようにまとめていくのが目的になる。これを今後、開催予定のまちづくり懇談会で意見を伺う素材づくりの元にする。

(グループワークを2班に分かれて実施)

(A班の発表)

大きく2案にまとまった。

(1案目)

再開発事業にどういったものが欲しいかという意見が様々あった。

- ・商業地には、ギャラリーや映画館、舞台など、文化拠点があれば良い。
- ・赤羽会館の機能を持った施設が、再開発事業の側にもあった方が良い。
- ・公園や広場なども部分的に設け、子ども達が遊べる場所をつくったほうが良い。
- ・熊本市サクラマチクマモトにおける、屋上の立体構造の事例のように、屋上に緑や芝生のある公園があって、子ども達や高齢者が集える場所があっても良い。
- ・これから出来上がる新しいまちに合った商業施設等も再開発事業の側に誘致できると良い。
- ・赤羽小学校は今の場所よりも、赤羽会館の場所に変えたほうが良い。公園の一部を校庭などに使い、赤羽岩淵中学校と連携して防災の拠点とした方が良い。
- ・赤羽のまちは荒川と接しているため、新しくできる商業施設やスズラン通りなどに荒川への道標があることによって、赤羽の東側が賑わうのではないかな。
- ・トイレを綺麗にするなど、赤羽駅東口全体の施設更新が必要ではないかな。

(2案目)

1案目の対比の案として、赤羽小学校を現在の場所に残した方が良い。

- ・赤羽小学校を残しながら、赤羽会館等の文化施設を回遊性のある形で配置することで、人の流れが一方通行にならず、まち全体が賑わって良いのではないかな。
- ・南口の開発について、ゾーニング構想でも「大人のディープなまち」という位置づけがあるが、防犯性の構築や文化施設の機能などもあると良い。

(その他)

- ・赤羽駅西側との連携なども今後の課題であるという意見があった。

(B班の発表)

議論の入口として、噴水が機能していない赤羽公園をどうにかするべきではという視点から入り、色々な事例を参照しながら、議論した。

(主な意見)

- ・赤羽公園を芝生のある魅力ある公園にした方が良い。
- ・南池袋公園などのようにカフェや喫茶店を設けて、賑わいある場所にしてはどうか。
- ・公園との親和性を考えた場合、高齢者の憩いの場や託児所などの福祉的な機能が身近にあったほうが良い。

- ・映画館などの文化的機能や、荒川ランナー向けのランナーズステーションなどのスポーツ機能は、赤羽公園側でなく、一丁目側に集積した方が良い。
- ・文化的な機能は駅前よりは、人が流れた先にある方が良いので、赤羽駅からも赤羽岩淵駅からも近い場所に集積した方が良い。
- ・クリニック等は集積せず、各所にあったほうが良い。
- ・物販等の目的のある施設は多少駅から遠くても良い。
- ・放置自転車が問題となっているため、駅前には駐輪場が必要である。
- ・シェアサイクルのステーションを各所につくったらどうか。

これらの議論を進めたなかで、元々の目的である地域の拠点としての赤羽小学校の在り方について議論をした際に、再開発事業が動こうとしており、親和性など色々な課題があるものの、今の場所に赤羽小学校の拠点としての機能があったほうが良いという議論になった一方で、赤羽公園の近くに文化的機能を持たせて、福祉的機能を駅前に設けることを考えると、小学校の場所と赤羽公園の場所を入れ替えるという考え方もあるのではという議論にもなった。

(事務局よりグループワークのまとめ)

- ・グループワークはいったん終了となるので、事務局にて取りまとめ作業を実施する。

### 3. 住民向けワークショップの企画（案）について

(事務局説明)

- ・住民向けワークショップについては、今後のまちづくり懇談会の開催と、それに続くまちづくり提案に向け、より多くの地域意見を反映させることを目的に、事務局から提案したものである。幹事会でのグループワークを凝縮し、一般向けに実施し、その結果も含めた複数案について、幹事会での結果報告を経て、まちづくり懇談会や総会の実施に繋げたい。
- ・東洋大学向けのグループインタビューについては、ライフデザイン学部の先生と相談したところ、インタビューに留まらず、既にある東洋大学連携部会と絡めた取組みについても模索するため、一旦保留とさせてほしい。

(コーディネーター説明)

- ・配布資料の、住民向けワークショップのチラシ（案）を配布し、参加者を募集したい。12月10日と17日、いずれも土曜日午前中の予定である。チラシは、協議会エリアに属する4つの自治会の範囲に全戸配布し、配布数は約10,000戸になる。コロナや会場都合もあり、15人定員とし、多い場合には抽選とするが、協議会エリアの方を優先する。いかがだろうか。

質疑応答（○：参加者、▲：事務局・コーディネーター）

○PTAには宣伝しないのか。

▲PTAにも声はかける。

○ワークショップ対象者が1万人といるなかで、15人定員は少なすぎる。例えば、第2弾を行うなどしないと、住民ワークショップを開催したとは言えない。

▲ワークショップの位置づけは、まちづくり懇談会での議論のたたき台をつくることである。幹事会のワークショップを補足できれば、たたき台がより幅広く深いものになると考える。ご指摘については、まちづくり懇談会で、広く多くの方に発言いただければと考えている。また、懇談会は、議論の深まりによって、2回3回と開催していくことも想定している。様々

な立場の方に向けて、ワークショップを開催し、どれだけ異なるのかを確認できればと考える。年末に向けて、インフルエンザと合わせたコロナの波が到来すると言われていた中で、また中止にしたいと思いがあり、コロナ対策さえすれば実施できる程度の人数として考え、会長・副会長と話し合い 15 人と決めた。まちづくり懇談会に向けたベースづくりの素材集めのためのワークショップだにご理解いただければと思う。

○地域住民向けといった表現でなく、このチラシのタイトルであれば容認できる。説明のように進めるのであれば良いと思う。

▲ワークショップの実施について、事務局提案の通りでよいか。

○（異議なし）

▲ありがとうございます。実施に向けて、ポスティング含めて事務局で進めていくので、よろしくお願ひしたい。

## 閉会

（事務局）

・本日の議題は以上だが、今年度から区議会議員の皆さんにオブザーバー参加いただいている。尾花会長にもご提案いただいたため、この 3 回を通した意見や感想があればいただきたい。

（オブザーバー1）

・3 回にわたり、皆様の赤羽に対する思いを生でしっかり聞かせてもらえた。様々な意見があり、大変勉強になった。またこれから更に地域意見を聞く機会が予定されているということで、しっかり区としても受け止めていただきたい。赤羽 100 年の計のような大事なまちづくりになるのではと思っているので、例えば公共施設の再配置も含めた総合的な事案に関して、住民の意見を良く聞いて、今後しっかりまとめてほしい。

（オブザーバー2）

・このような議論はとても大事であり、多くの人にも影響が及ぶようなまちづくりが進んでいくため、コロナもあるが、まちづくりに関心のある方に、出来るだけ多く参加していただくのが大切だと思う。本日、赤羽小学校の保護者の方から、タワーマンションが建つことを良く知らず、事前に説明してほしいという要望があった。情報公開と多数の住民の参加を、これからも心掛けてほしい。

（オブザーバー3）

・自分自身も赤羽地域に住む保護者でもあるので、皆さんの意見を本当にその通りだと思い聞いていた。地域開発特別委員会でも、保護者などに再開発に関する通知をしていただけないかという提案をしているので、引き続き検討いただきたい。保護者の声が届くように尽力したい。

（事務局）

・区として受け止めなくてはならないご指摘もあったが、しっかり対応する。  
・全ての議事が終了したので、最後に次回幹事会についてご案内する。今回日程等は特に記載していないが、12 月の住民向けのワークショップの実施後に、結果をご報告するとともに、その次のまちづくり懇談会等の開催について議論するため、来年の 1 月下旬頃に予定したい

と考えている。詳細の日程等については、改めて事務局から皆様にご連絡する。

以上

### ◆当日の様子

